

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策関連事業（主な事業の評価）

担当：①経済部

No.	担当課	事業名	補正 時期	現計予算 (円)	決算額 (円)	事業概要	業界や市民から 寄せられた意見・要望	評価
1	産業政策課	感染拡大防止に向けた営業時間短縮協力金事業	4/24専決	280,000,000	278,249,762	4月21日に新潟県から出された施設の使用停止等の協力要請に応じる対象施設のうち、営業時間の短縮に協力した飲食店を対象に、協力金を支給。	<ul style="list-style-type: none"> ・10万円でもほんとうに助かったとの謝辞をいただいた。 ・飲食業以外からも対象として欲しい旨の要望があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施により、多くの事業者が県の時間短縮営業の要請に協力いただいたことで、感染拡大防止の一助となった。
2	産業政策課	テナント等家賃減額協力金事業	4/24専決	60,000,000	58,449,873	4月21日に新潟県から出された施設の使用停止等の協力要請に応じる対象施設のうち、中小企業が経営する市内店舗等家賃の減額に協力する不動産オーナーを対象に、協力金を支給。	<ul style="list-style-type: none"> ・県の休業等の要請対象外であったテナントについても支給対象として欲しい旨の要望があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施により、県の時間短縮、休業の要請に協力いただいた事業者に対し、固定費である家賃の一部を間接的に支援することで、テナントの事業継続に一定程度効果があった。
3	産業政策課	新型コロナウイルス感染症拡大防止休業協力金事業	予備費	72,800,000	72,800,000	5月5日に新潟県から出された休業要請の延長に応じる市内の対象施設（遊興施設等及び運動・遊技施設）を運営する中小企業に、協力金を支給する。	<ul style="list-style-type: none"> ・手続きを簡素化するとともに、交付決定後1週間内の早期至急を実施したことへの謝意があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施により、多くの事業者が県の休業要請に協力いただいたことで、感染拡大防止の一助となった。

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
4	産業政策課	ビジネス継続支援事業	6月定例会追加	101,200,000	100,980,453	国の持続化給付金の支援から漏れる、売上減少割合が3割以上～5割未満の中小企業等に支援金を支給する。	<ul style="list-style-type: none"> ・制度創設への謝意をいただいた。 ・申請書類が煩雑との意見をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・申請件数は想定を下回ったが、本事業の実施により国の持続化給付金の対象とならなかった事業者を支援することができた。
5	雇用政策課	雇用調整助成金利用促進事業	4/24専決	90,000,000	69,707,000	中小企業を対象に、雇用調整助成金の申請の際に社会保険労務士等を活用した場合の手数料の一部を補助する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を利用したことで、社会保険労務士経費の負担軽減となったとの評価の声があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施により、社会保険労務士への依頼が容易になり、雇用調整助成金の利用が促されている。
6	産業政策課	新潟IPC財団補助金（インターネットショッピングモール出店補助事業）	5月臨時会	8,000,000	7,077,678	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した事業者に対して、インターネットショッピングモールへの出店費用を補助し、商品やサービスの新規需要の開拓を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・時短営業や外出自粛の影響により売上が減少する飲食店や小売店が利用できる支援をいち早く打ち出したことへの謝意をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施により、事業者が早期にインターネットショッピングモールに出店し、販路の開拓に取り組むことができた。 ・事業実施後アンケート結果では、売上（見込み含む）が増となった事業者が確認された。
7	産業政策課	オンライン輸出商談会事業	9月定例会	5,000,000	4,297,920	新型コロナウイルス感染症の影響により、海外との商談機会が減少していることから、オンラインでの商談機会を創出することで、市内中小企業の輸出を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・海外との往来に制限がある中、海外バイヤーと商談する機会を設けたことへの謝意をいただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施により、渡航制限のある海外のバイヤーとの商談機会を創出することができた。 ・商談によって、受注量の増加につながった案件が確認された。

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
8	産業政策課	新潟地域産業見本市開催負担金	9月定例会	5,000,000	4,999,500	見本市「にいがたBIZ EXPO 2020」会期中及び会期後に実施する商談会にビデオ会話ツールを導入し、遠隔地からも参加可能なオンライン商談会を実施する。	オンライン商談会参加者の約8割が、アンケートで「非常に満足」若しくは「満足」と回答しており、一定の評価を得た。	本事業の実施にともない、県外から多くのバイヤーに参画してもらうことができた。会場内での密や人と人の接触機会を低減することができ、参加者が安心して商談できる環境を整えることができた。
9	産業政策課	新潟IPC財団補助金（中小企業コンサルティング機能強化事業）	6月定例会追加	7,000,000	4,488,906	新型コロナウイルス感染症の影響により増加する経営相談に対応し、市内中小企業の経営課題解決を支援するため、プロジェクトマネージャーを増員し、コンサルティング機能の強化を図る。	利用者や関係団体等からコンサルティング機能の強化に対して評価の声があった。	4名体制となり、コンサルティング機能の強化を図ることができた。
10	産業政策課	新潟IPC財団補助金（事業ブラッシュアップ支援補助事業）	6月定例会	46,560,000	43,028,454	売上が減少した中小企業に対して、「新しい生活様式」を踏まえた商品開発や機械の導入など、事業内容のブラッシュアップに要する費用を補助する。	国制度の対象とならない事業者を対象とした本市独自の支援に対して企業や経済団体から評価の声があった。	ビジネス環境の変化に対応するために事業のブラッシュアップに取り組むことを後押しすることができた。
11	企業誘致課	中小企業生産性向上設備投資補助金	5月臨時会	140,000,000	80,393,000	マスクや消毒液等の供給不足品の解消や、サプライチェーン毀損等に対応するため、既存の制度に「コロナ対策枠」を創設し、設備投資を行う市内中小製造事業者等を支援する。	市内中小製造事業者等が行う、新型コロナウイルス感染症への対応に必要な設備投資を幅広く支援するため、国制度（ものづくり補助金など）を補完する市独自の支援が求められた。	新型コロナウイルス感染症を契機とした課題に対応するため「コロナ対策枠」を創設し、新型コロナウイルス感染症拡大時期から、ウィズコロナ、ポストコロナに向けた設備投資を支援することができた。

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
12	成長産業支援課	中小企業成長支援促進事業	5月臨時会	4,500,000	4,228,010	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、テレワークなどに対応するための社内環境の整備やデジタル技術の活用により新たな事業展開を目指す事業者に対し、課題に応じた各種専門家を派遣し、国のコロナ対策事業などの積極活用も含めた助言を行い、課題の早期解決を支援する。	一連の派遣相談の結果として市内IT事業者へのシステム発注に結び付くなど、ビジネスにつながる事例も生まれており、市ソフトウェア産業協議会より評価の声が上がっている。	・利用者アンケートで1回の派遣ごとの満足度を5段階で調査したところ、「5(とても満足)」「4(満足)」の評価が約9割を占めた。 ・本事業はR2年度で終了したが、今後も相談があった場合は市ソフトウェア産業協議会へつなげる「デジタル化マッチング支援事業」を新たに開始した。
13	企業誘致課	ITソリューション補助金	9月定例会	60,000,000	42,379,000	新型コロナウイルス感染症による影響を受けて浮き彫りとなった経営課題や事業課題を解決するため、ITツール導入に係る設備投資を行う市内中小企業を支援する。	第15回新潟市経済社会再興本部会議(市ソフトウェア産業協議会との意見交換)において、国のIT導入補助金を補完する支援が求められた。	ウイズコロナにおける経営課題の解決に向け、生産性を高めるITツールの導入やテレワークを実施するための環境を整備するなど、中小企業の課題解決に向けた支援をすることができた。
14	商業振興課	「新しい生活様式」に対応した店づくり応援事業	5月臨時会 その2	282,000,000	244,776,015	「新しい生活様式」に対応した店づくりを行う事業者を支援するため、小規模店舗が実施する設備投資に係る費用を補助する。	・緊急性の高い事業と判断し、5月臨時会で打ち出したが反響が予想以上に高く、補正予算を大幅に上回る申請件数があった。 ・第3期で終了予定だったが、問い合わせ状況から一定の要望があると判断し、募集期間も延長した上で、第4期を実施した。	事業者が感染防止と社会経済活動の両立のために、いち早く「新しい生活様式」へ対応できるよう迅速な支援ができた。
15	商業振興課	地域を支える商店街支援事業	6月定例会	134,500,000	80,192,606	商店街が独自に取り組む感染症対策や集客回復の様々な活動に対して補助する。	R2年5月22日新潟市商店街連盟からの支援要望があり、6月議会でいち早く支援を打ち出したことで、業界から評価の声があがっている。	感染症対策をはじめ、商店街独自のクーポンやプレミアム付き商品券発行事業など、にぎわい回復に向け工夫を凝らした内容の申請があり、商店街の主体的な取り組みを後押しすることができた。

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
16	商業振興課	地域のお店応援商品券発行事業	6月定例会追加 2月定例会	1,990,000,000	756,374,671	地域のお店の応援と消費喚起を目的に、商工団体等で構成する実行委員会が行う商品券事業を支援。	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年5月22日新潟市商店街連盟からの支援要望があり、6月議会でいち早く支援を打ち出したことで、業界から評価の声があがっている。 ・参加業者が増えたことで実行委員会や市議会会派から追加発行の要望があり、事業者に広く行き渡るように支援したことで商業団体より評価をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4,514店舗と多くの地域のお店が参加し、市内全域の幅広い業種に対する支援となった。 ・R3繰越額 1,139,225千円
17	雇用政策課	離職者等雇用事業所奨励金	6月定例会追加	180,000,000	22,233,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、就労の場を失った者及び就職氷河期世代の無業者を雇用する事業主を対象に奨励金を支給。	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省公表の「新型コロナウイルス感染症に起因する雇用への影響に関する情報について」では解雇等見込み労働者数が全国で110,000人を超え全国的に影響が懸念されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく離職された方の再就職の支援につながっている。 ・R3繰越額 40,500千円
18	雇用政策課	新規採用活動支援事業(2021・2022年新規学卒者)	5月臨時会 9月定例会	35,000,000	24,690,000	2021・2022年新規学卒者の採用を予定している中小企業に、就職情報サイトへの求人情報掲載や動画配信等にかかる経費を補助する。	<ul style="list-style-type: none"> ・商工団体からは、従来より新規採用活動への各種支援が求められてきたところ。 ・コロナ禍における採用活動のオンライン化により、支援の延長・拡充が要望されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の実施により、企業の新規採用活動にかかる投資を支援することができた。
19	雇用政策課	移住促進特別支援事業	6月定例会追加	27,000,000	5,804,599	東京圏から移住して本市で就労する方やテレワークの活用により本市で暮らす方に支援金を支給。	<ul style="list-style-type: none"> 本事業のことを知った人から、新潟市でテレワークをするために会社と相談するとの意見があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 移住元等に関する要件を、移住支援金と比べて大きく緩和することで、短期間ながら申請を受けることができています。

No.	担当課	事業名	補正 時期	現計予算 (円)	決算額 (円)	事業概要	業界や市民から 寄せられた意見・要望	評価
20	雇用政策課	教育訓練実施事業所応援事業	6月定例会 追加	40,000,000	13,344,700	雇用調整助成金を活用して中小企業が行う、社員の教育訓練に係る経費を助成。	雇用調整助成金の教育訓練加算は適用されなかったが、本事業では対象になったとの意見があった。	本事業では対象の教育訓練を広く設定しているため、従業員へのスキルアップを支援できている。
21	雇用政策課	新潟テルサ新型コロナウイルス感染症対応事業	9月定例会	6,400,000	5,735,400	不特定多数の方が利用する新潟テルサにおける新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、非接触により体温測定ができるサーマルカメラの導入やトイレ照明・手洗器の自動化設備の整備を行う。	引き続き、公共施設の感染症拡大防止措置が求められている。	新しい生活様式に対応し、施設の感染症拡大防止が図られている。
22	雇用政策課	施設使用料の還付及び施設管理運営費の減収補填	6月定例会 追加	12,037,000	10,870,000	新型コロナウイルス感染症の影響による新潟テルサのキャンセル料の還付。	引き続き、公共施設の感染症拡大防止措置が求められている。	顧客対応に柔軟に対応している。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策関連事業（主な事業の評価）

担当：②農林水産部

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
1	食と花の推進課	新潟市花の需要・消費拡大支援事業	5月臨時会 6月定例会追加	30,000,000	25,268,630	式典・祝宴・イベント等の自粛により需要が低迷している花の需要を喚起し、消費の拡大を図る	<p>【花き業界・関係者から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花の需要・消費拡大に向けた事業にスピード感をもって実施したと感謝いただくとともに、中長期的な支援についての要望があった。（市場） ・市内産花きを意識して販売・購入することは今までになかったことなので、一定の経済効果があったのではとの声をいただいた。（農業団体） ・コロナ禍で花の作付けを減らした農業者もあり、市内産花きの流通量が少なく、仕入れに苦慮しているとの声があった。（生花店） <p>【市民から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報での割引券配付だけでは不公平。配付方法の検討について要望があった。（対応済） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市場やJA等との連携により、準備期間がない中にも関わらず、早期に事業実施することができた。 ・割引券発行や花き装飾展示を通じて、消費者に対する市産花きのPR・意識付けの効果があったと思われる。
2	食と花の推進課	にいがたを贈ろう！農水産物産地直送支援事業	6月定例会 6月定例会追加	55,000,000	53,515,151	送料を支援することで、「新しい生活様式」の実践を進めるとともに、市内産農産物の認知度向上・需要の拡大を図り、農業者所得の向上につなげる	<p>【参加事業者から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施によって新潟市産を選択し、条件に合うよう3,000円以上の購入（通常はもう少し低価格帯）が増えたこともあり、お中元シーズンは前年度を上回る売上げがあった。 ・意識して購入することによって新潟市産の果物・枝豆をPRする良い機会となったと思う。 ・低温や長雨等の天候の影響により、需要はあるのに供給が少ない状況が続いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前準備ができず事業実施となったが、関係者の声を聞きながら事業を進めることができた。 ・天候の影響で夏時期の品目は収量が少なかったこともあり緩やかな進捗となったが、年末の贈答需要で大きく伸びた。 ・関係者からの意見から、一定の経済効果と市内外へのPRの機会ができたと思われる。

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
3	農林政策課	スマート農業導入支援事業	6月定例会	123,044,000	122,651,000	新型コロナウイルス感染症をはじめとしたリスクに対応できる強靱で効率的な生産体制の整備を強化する。	スマート農機を初めて導入した農業者から、労働時間の削減になったとの声が聞かれた。	スマート農業の推進は、人の移動制限による労働力不足の対応に有効であり、農業生産の省力化、効率化に向けた取組みが加速された。
4	農林政策課	元気な農業応援事業（施設園芸省エネルギー対策推進事業）	6月定例会追加 9月定例会	40,147,000	40,088,000	新型コロナウイルス感染症の影響により長期的に原油価格の乱高下が懸念されており、燃料費が経営に占める割合が大きい施設園芸農業が安定して経営を継続させていくためには強靱な経営構造への転換が急務であり、高効率の省エネルギー設備の導入を支援する。	・申請時期が、国の補正予算事業の申請時期と同時期となり対応に苦慮した。（農業団体） ・設備の入替というこれまでの事業では対象にならなかった内容であり、今後の産地維持にとって有用であった。（農業者・農業団体）	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた施設園芸において、燃料費の価格上昇による経営への影響が抑えられ、産地の維持・向上が図られた。
5	食と花の推進課	食と花の銘産品プロモーション動画制作事業	6月定例会追加	12,000,000	11,994,400	コロナ禍において、市産農産物の戦略的な外販・販促を進めるため、市内外の方に市産農産物への興味を喚起するプロモーション動画を制作する。	これまで農産物の動画がなかったため、今後の販促用ツールとして関係者からの期待が高い。	完成した動画は、市の動画サイトに掲載するとともに、コロナ禍の対面・試食販売に代わるツールとして、首都圏及び市内のスーパーや直売所等の販促活動に活用した。
6	中央卸売市場	（市場特会）中央卸売市場業務継続支援金事業	6月定例会追加	20,000,000	19,943,171	新型コロナウイルス感染拡大により売上が減少している場内業者に対し、業務の継続を支援するため。	本支援策を早期に実施したことにより業務継続に効果があったとの意見が寄せられた。	本支援を実施したことにより、場内業者の業務継続に効果があった。

No.	担当課	事業名	補正 時期	現計予算 (円)	決算額 (円)	事業概要	業界や市民から 寄せられた意見・要望	評価
7	農林政策課	人・農地プラン実質化加速事業	6月定例会 追加	3,000,000	2,971,861	<p>①人・農地プランの実質化に必要な図面作成をシステム化し、三密となる話し合いを回避しながら実質化を進めるための支援を行う。また、話し合い再開の際の感染リスク低減のため、マスク及び消毒液等の備品を支援する。</p> <p>②システム改修経費及びマスク・消毒液等の購入を交付対象経費とする。</p> <p>③システム改修経費 2,156,000円 消毒液等 815,861円</p>	<p>地域の農家組合長等より、システム出力し配布した図面に対し、地域の耕作者及び年齢階層の分布が確認できて参考になったという声があった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、人・農地プランの実質化に向けた地域の話し合いが停滞していたが、本対策を実施したことにより市内全域で話し合いを進めることができた。</p>

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策関連事業（主な事業の評価）

担当：③観光・国際交流部

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算 (円)	決算額 (円)	事業概要	業界や市民から 寄せられた意見・要望	評価
1	観光政策課	通勤機会縮減等に取り組む市内企業支援	5月臨時会 その2	60,000,000	27,464,468	<p>市内登録事業所・企業の社員が、通勤機会縮減やテレワーク等のために登録宿泊施設を利用する場合、3千円/回の助成券を発券する。</p> <p>【事業期間】 ・6/1～R3/2/28</p>	<p>【宿泊施設から】 ・いち早く支援を打ち出したことを評価したい。 ・終了期間を延長してほしい。 (当初の8/31から2/28へ延長済み)</p>	<p>・感染症予防に取り組む市内企業への助成を通して、利用者が激減した宿泊施設に対する早急な支援につながった。</p> <p>・R3繰越額 31,127千円</p>
2	広域観光課 (西蒲区産業観光課)	あんしん宿泊割引プラン支援事業	5月臨時会 その2	40,000,000	39,698,843	<p>岩室温泉等に宿泊の新潟市民を対象に、1人1泊宿泊費の2分の1(上限5千円)を割引する。GoToトラベルと併用可</p> <p>(第1弾) 【事業宿泊期間】6/1～9/30</p> <p>(第2弾) 【宿泊期間】R3/1/4～2/28</p>	<p>【宿泊した市民から】 ・各旅館のコロナ対策が徹底されており、安心して宿泊ができた。 ・これまで市内の宿を利用する機会が少なかったが、新たな魅力を発見でき、良かった。</p> <p>【旅館から】 市民の利用増加の契機となり、コロナ禍での各旅館の窮状が救われた。</p>	<p>本事業の実施により、市民のコロナ疲れの癒し及び旅館への早急な支援などの一助となり、市民利用者と旅館双方から評価の声があった。</p>

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価	
3	観光政策課 国際観光課 広域観光課	安心・安全に向けた感染症対策事業	6月定例会追加	14,000,000	18,126,000	宿泊施設感染症対策補助金 市内宿泊施設が行う衛生設備等の購入など感染症対策を支援する。 【補助上限額】 ・通常 100千円 ・GoToトラベル登録施設 200千円 (大規模宴会場を有する場合500千円を加算) 【申請受付期間】 ・8/17~9/30	・県の補助制度等は大規模宴会場を所有する宿泊施設が対象外だったため、ありがたい。 ・GoToトラベルの登録施設になるには感染症対策が必須であり、本事業により登録しやすくなった。 ・手続きが簡単で申請の負担が少なかった。	・本事業利用を契機に、GoToトラベルに登録した事業者もあり、市内の宿泊施設の感染症対策整備の機運を高め、安全で安心な宿泊環境の提供の一助となった。 ・宿泊者数や大規模宴会が激減する中、感染症対策は多大な負担になっていたため、活用できる補助事業ができて良かったと大変好評であった。 ・様々な申請等の負担が事業者にかかる中、簡略化した手続きにより、事業者側、市側ともに効率的に事務を進められた。	
				16,000,000	14,150,000	バス・タクシー事業者緊急支援金 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行う観光バス(貸切バス)運行事業者に対し支援金交付する。 【補助額】 ・基本額 500千円 ・加算額 車両1台につき50千円			経営状況が最も悪化していた時期に迅速に支援を行ったことで、事業存続に向けて一定の効果があつた。
				25,000,000	2,307,020	旅行商品感染症対策支援事業助成金 旅行商品を造成するうえで利用する貸切バスの感染症対策を目的とした台数増加に伴う費用を助成する。 【補助上限額】 ・250千円/出発 ・1,000千円/社			【旅行会社から】 3密防止の要望や過密乗車に対する不安感が高まる中、感染症対策を講じることができ、お客様から安心してバスを利用していただけた。
			小計	55,000,000	34,583,020				

No.	担当課	事業名	補正 時期	現計予算 (円)	決算額 (円)	事業概要	業界や市民から 寄せられた意見・要望	評価
4	広域観光課	新しいMICE誘致推進事業	6月定例会 追加	96,000,000	24,555,802	<p>MICE開催補助金及びおもてなし助成金を拡充するほか、新規支援制度を創設し、感染症対策支援やコンベンション参加者の消費活性化、リピートを推進する。</p>	<p>【MICE主催者から】 感染防止に努めつつ、参加者への不安払拭にもつながる制度で大変ありがたい。</p> <p>【宿泊施設から】 市内の宿泊者はリピーター客が多く、MICE参加者への宿泊割引クーポンの配布等による再訪効果に期待している。</p>	<p>・迅速な誘致制度の拡充等、MICE主催者への開催引き留め及びMICE関連業界（宿泊施設や飲食店等）への経営支援に寄与した。</p> <p>・R3繰越額 70,000千円</p>

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
5	観光政策課 国際観光課 広域観光課	新しい観光スタイルの検討・推進 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">7/14 協議会設立総会 (会長：市長) 10/26 第二回総会</div>	6月定例会追加	62,000,000	72,193,026	誘客促進支援事業補助金 市内観光施設、宿泊施設、飲食店利用に応じた旅行商品の造成に対し、一定の報奨金や広告・宣伝費用を補助する(全5制度)。 教育旅行誘客促進支援事業助成金 教育旅行の取り扱いに対する奨励金や貸切バスの感染症対策費用を補助する。	【旅行会社から】 ・予算を拡充してほしい。 ・教育旅行に対する補助制度を創設してほしい。 (後述の教育旅行誘客促進事業助成金を追加創設し対応) ・県外から市内へ教育旅行に来ることはこれまでなかったことで、画期的である。	誘客活動が制限されるなか、市内観光施設等の利用を促す支援制度を提供した結果、市内外の事業者からの利用があり、特に教育旅行という新たな需要の掘り起こしに結びついた。
				43,000,000	3,393,500	誘客イベントのモデル実施 本市観光のキラーコンテンツである芸妓や日本酒を活用した感染症対策対応済みのイベントを、ホテルバンケット等で実施する。	【新潟シティホテル連絡協議会から】 ホテルバンケット利用が減少している中でモデル実施を評価したい。	・感染症の拡大により、大規模なバンケット利用のモデルイベントは実施できなかった。 ・新潟シティホテル連絡協議会と共催で新潟産品を活用したダイニングフェア「新潟づくしフェア」を実施し、市内ホテルの連携事業を支援した。
				44,000,000	23,636,146	観光キャンペーンの推進 宿泊施設や観光施設が感染症対応済みであることをPRするほか、新しい観光スタイル構築を具体化する。	意見集約を目的とした一般向けモニターツアーは、感染拡大により実施できなかったが、関係者向けに実施した体験ツアーでは、「行く前から地元のウェルカム感が伝わってきた」など、これまでの旅行には無かったプラスアルファを感じていただいた。	旅行に出かける前や後に、オンラインを活用して地域の魅力をお届けし、実際に訪れた際の満足度や再来訪意欲を高める仕組みを取り入れたハイブリッド観光を推進していくことについて、今年度は岩室・巻エリアをモデルエリアとし、4件の商品造成を実施し、次年度以降も協議会委員(観光業界関係者)と合意形成をすることができた。
				0	7,457,580	古町芸妓派遣 市内8区の料亭等へ古町芸妓を派遣するなどし、古町芸妓の存在を広く身近に知ってもらうほか、客足が遠のいている料亭(日本料理店)等を支援する。	【古町芸妓関係者から】 ・感染症の拡大により激減してしまった古町芸妓の活動の場の確保や古町地区の料亭の営業継続につながった。 ・市内各区で芸を披露することで、これまであまり馴染みのなかった多くの方々に、古町芸妓の存在を身近に感じていただいた。 ・これまで以上に新潟市の貴重な観光資源であることを再認識し、観光のあらゆるPR場面で活動したい。	・8区、古町地区ともに好評で、短期間で予算上限(申込ベース)に達した。 ・新潟県の警報発令を受け事業を停止した。
				10,000,000	3,964,481	事務局費		
		小計		159,000,000	110,644,733			R3繰越額 48,700千円

No.	担当課	事業名	補正 時期	現計予算 (円)	決算額 (円)	事業概要	業界や市民から 寄せられた意見・要望	評価
6	国際観光課	宴会割引キャンペーン	予備費	40,000,000	2,184,000	<p>宴会キャンセルにより経営に大きな影響を受けているホテル・旅館等の宿泊施設支援のため、施設宴会場で感染症対策を講じて開催される10人以上の宴会費用の一部を補助する。</p> <p>【事業期間】 R2/12/11～R3/2/28</p>	<p>【市民・医療関係者から】 感染拡大が不安視される状況において大人数での会食を推奨するような制度は、見直すべきである。</p> <p>【飲食店等から】 同時にスタートした区役所の地元飲食店応援事業と比較し利用対象者の範囲が広く、不公平感がある。</p>	<p>年未年始に支援が間に合うよう、スピード感を持って事業を開始したが、新潟県の警報発令を受け一時停止し、その後、再開することなく事業終了となった。</p>

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策関連事業（主な事業の評価）

担当：④文化スポーツ部

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
1	文化政策課	文化施設体温測定機器購入事業	6月定例会	5,000,000	3,030,500	文化施設への来館者の体温測定実施のため、非接触型体温測定機器を購入する。	検温の際、お客様とスタッフの距離を設けることができることや、お客様自身が直接視覚で体温を確認できるため、お客様の安心感につながった。	文化施設の中でも特に来客が見込まれる施設に体温測定機器を導入したことで、安全に施設を運営することにつながった。
2	文化政策課 歴史文化課	文化施設空調改修費	6月定例会追加	50,000,000	45,628,000	りゅーとびあ、マリンピア日本海、歴史博物館について、感染症防止対策として、改修の緊急性が高い空調設備の改修を実施する。	空調設備について、以前より業者から改修の必要性について指摘されていた。	<ul style="list-style-type: none"> ・改修の緊急性が高い施設について、市民へ影響をあたえることなく、早期に改修を実施することができた。 ・ただし、文化庁の補助対象期間や工期を踏まえて実施可能なものに限っており、大規模なものについては、引き続き、計画的な対応が必要である。
3	文化政策課 歴史文化課	キャッシュレス納付導入事業	9月定例会	11,181,000	4,124,390	マリンピア日本海、歴史博物館、旧小澤家住宅、新津鉄道資料館の観覧料等について、キャッシュレス決済を導入し、現金の受け渡しに伴う感染リスクの低減や、利用者の利便性の向上及び事務の効率化を図る。	新型コロナウイルスの影響もあり、キャッシュレス決済を求める声は多い。	現金の受け渡しに伴う感染リスクの低減だけでなく、利用者の利便性の向上及び事務の効率化につながった。

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
4	スポーツ振興課	新潟シティマラソン代替イベント開催費	6月定例会追加	20,000,000	15,642,000	<p>「第38回新潟シティマラソン」の開催を1年延期したことによる代替イベント</p> <p>①「新潟シティマラソン リモートチャレンジ」6,381千円</p> <p>②「新潟シティマラソン 10,000m タイムトライアル」9,261千円</p>	<p>・2年連続でシティマラソンが開催できないなか、コロナ対策を講じたうえでイベントを開催したことで、ランナーからは感謝の言葉をいただいた。</p> <p>・リモートチャレンジでは、特別協賛社であるサトウ食品㈱が創業70周年を迎え、記念70キロを用意できたことで協賛効果を打ち出すことができた。</p>	<p>・シティマラソンに対する参加ランナーの気持ちを次回大会へとつなぐことができた。</p> <p>・各区のスポーツ推進委員の活躍の場を作ったことで、次年度へと熱意をつなぐことができた。</p> <p>・ウィズコロナでのスポーツイベント開催のノウハウを得ることができた。</p>
5	文化政策課	市民交流ステージ開催事業	6月定例会追加	12,800,000	8,567,350	<p>新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を取ったうえで、市民の文化芸術活動再開のきっかけとなるコンサートを開催する。</p> <p>市民に身近な公共施設を会場に市内全域で開催することで、多くの市民に安心・安全に配慮した公演を体験いただき、鑑賞する側の不安の解消にもつなげる。</p>	<p>・出演者からは、予定されていた公演やイベントが中止となった中で、発表の機会をつくってもらったことに感謝の声をいただいている。特に、中高生にとっては貴重な機会となった。</p> <p>・また、イベントの企画・運営と演奏を両立することは難しく、演奏に集中できるステージを求めているとの声も寄せられている。</p>	<p>・募集定員の36団体を大きく上回る99団体の応募があり、市民ニーズに合致した事業であった。</p> <p>・市が感染症対策をとったうえで発表の場を提供することで、市民の文化芸術活動再開を後押しすることができた。</p> <p>・次のステップとして、市民や団体の自主的な活動につながるよう、事業の見直しを行いつつ、継続的な支援が必要である。</p>

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
6	文化政策課	りゅーとびあ☆夢ステージ開催事業 (りゅーとびあ市民文化祭)			3,810,510	文化芸術活動や発表機会の中 止・延期を余儀なくされた団体等 を対象に、「りゅーとびあ☆夢ス テージ」を開催する。 普段は市民が利用するには敷居 が高いと感じられている「りゅー とびあ」を会場とすることで、モチ ベーションの回復を図ることを ねらいとしている。	応募団体からは、新型コロナ 感染拡大の影響により各種コン クールやイベントが中止とな り、目標を失っている中、活動 再開のきっかけとなる発表の場 を求める声が寄せられた。	募集団体数を上回る数の応募があり、本事業は文 化芸術団体のニーズと合致している。 ・全出演団体にとって、本事業が活動再開のきっか けとなり、モチベーションの向上につながった。
7	文化政策課	ハートウォーミング・ジャ ズコンサート (りゅーとびあ市民文化 祭)	6月定例会 追加	8,000,000	3,216,109	ハートウォーミング・ジャズコン サート開催 日時：12月27日(日)14:00～ 16:30 会場：りゅーとびあ コンサート ホール 主催：ハートウォーミング・ジャ ズコンサート開催実行委員会 出演：地元ジャズバンド2団体、細 川千尋ピアノトリオ 来場者数：677人(招待、関係者等 含む)	アンケート回答者数：339人 アンケート回収率：50% (339/677人) 公演満足度：90% (満足：251人、まあ満足：51 人)	コロナ禍の中、日常生活に制限を加えられている 市民の皆さんや最前線に対応いただいている医療関 係者に対し、安心した環境の中で、心温まる音楽の 鑑賞機会を提供することができた。
8	文化政策課	新しい生活様式に基づくモ デル公演事業 (チャレンジコンサート)	6月定例会 追加	4,000,000	1,965,576	文化芸術の活動再開に向けた 「ガイドライン」を作成し、施設 管理者、利用団体、指導者を対象 に、解説付きのモデル公演を開催 する。	実際にサーマルカメラなどの 実物を見ることができて参考に なった、具体的な事例を聞くこ とができてよかった、などの意 見があった。	・ガイドラインの周知を図ることができたほか、新 型コロナウイルスの感染対策の具体例を紹介する ことができた。 ・新しい生活様式に基づいた文化芸術活動のモデル を示したことで、市民に対して活動再開を検討する きっかけを提供することができた。 ・会場やイベント内容、予算規模等によって取られ る感染対策が異なるため、個々のイベントに応じた 対策については、相談窓口を紹介するなどして個別 に対応していく。

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
9	文化政策課	文化芸術団体への寄り添い型支援事業	6月定例会追加	10,367,000	10,317,337	新潟市文化芸術活動再開支援業務に係る、市民や団体が実施する文化芸術活動の企画・運営について、相談、指導及び助言を行うなど文化芸術活動実施者に寄り添いながら支援する。	支援チームから、感染症対策等についての具体的なアドバイスをいただき、活動再開につなげることができたなどの意見をもらった。	・感染症対策への支援により、活動再開への後押しになっている。 ・支援チームによる支援を通じて、文化関係者の現状把握に努め、フェーズにあった支援につながった。
10	文化創造推進課	企画提案型イベント支援事業	6月定例会追加	20,200,000	14,485,120	市民が企画、運営する文化芸術活動について、事業にかかる経費を補助するとともに、安心してイベントが開催できるよう、市が感染拡大防止ガイドラインに沿ってアドバイスし、活動の再開を支援する。	【採択事業者の意見】 ・感染症対策のサポートが大変ありがたかった ・今後同様のイベントを自力で実施していきたい ・実施者のみならず、アーティスト支援にもつながるのが意義深い	・補助金を活用することで、コロナ禍において経済的負担を軽減して事業を実施してもらえた。 ・寄り添い型支援チームによるコロナ対策の支援を行ったことで、安心して事業を実施することができ、今後の活動を継続する上での参考としてもらった。 ・コロナ禍において、自主的な事業の実施を見送る風潮があり、団体等からの申請が少なかった。
11	文化政策課	文化施設等利用促進支援事業補助金（施設利用料等の補助）	6月定例会追加	63,000,000	34,867,828	市内文化施設等の利用に関する市民の不安を払拭し、利用の促進を図るため、文化施設等の利用に対し施設利用料等を補助する。 ・7月～9月：全額 ・10月～3月：半額 ※いずれも上限50万円	・収容人数の制限により、採算の確保が困難な状況の中で、公演を実施する後押しになった。 ・ライブハウス業界からは、本制度を好意的に受け止め、事業の周知に尽力いただいた。	・市民の活動再開を、経済的な面から支援することができた。 ・民間施設（登録施設）の経営に対するサポートにつながるとともに、施設の感染症対策も進めることができた。

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
12	文化創造推進課	オンラインを活用した文化活動支援事業	6月定例会追加	3,000,000	2,409,665	<p>[オンライン文化活動応援事業] オンライン文化活動に必要なとなる機材と会場の無償貸し出しのほか、相談窓口を開設する。</p> <p>[オンラインセミナーの開催] オンラインを活用した文化活動を行う上で、必要な基礎知識やコツなどを学ぶセミナーを開催する。</p> <p>[オンライン座談会] 活動の発表の場が失われている若者（高校生等）の文化活動の活力を創出するため、若者（高校生等）と第一線で活躍している文化人によるオンライン座談会を開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機材と会場を併せて借りられることで、オンライン文化活動を始めることができた。 ・セミナーに参加したことで、具体的なオンライン文化活動をイメージすることができた。 ・座談会を通じて、当たり前の事ができる喜びを確認することができた。 ・相談窓口を活用したことでライブ配信が完了し、オンラインを活用した文化活動のノウハウも得ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機材・会場の貸し出しやセミナーについて、これからオンラインの活用を検討している方に対するハードルを下げることができた。 ・コロナ禍において、文化活動の再開・継続の支援、若者の文化活動の活力につなげることができた。
13	文化政策課	施設使用料の還付	6月定例会追加	23,000,000	14,044,767	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、文化施設の利用を取りやめた利用者に対し、使用料の全額還付を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用の中止を余儀なくされた利用者から喜ばれた。 ・速やかに対応したことで、利用者とのトラブルを最小限に留めることができた。 	<p>還付を受けられることで使用料についての心配なく、イベント等実施の可否を判断でき、その結果として感染拡大の防止にも貢献した。</p>

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
14	スポーツ振興課	施設使用料の還付及び施設管理運営費の減収補填	6月定例会追加	12,300,000	7,197,408	新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館していた指定管理施設の減収分補填（アイスアリーナ）、及び施設使用料の還付（市内体育施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・補填は、指定管理者による国や県の助成制度の活用を除いた部分について、要望・相談を受けていた。助成制度との二重払いとならないよう迅速に対応し、適切な施設管理に寄与できた。 ・還付は、速やかに対応したことで、利用者とのトラブルを最小限に留めた。 	完全利用料金制を敷いている指定管理施設であるため、補填の判断が早かったことは現在の経営の安定に寄与している。
15	文化政策課	市民芸術文化会館事業費補助金	6月定例会追加	73,500,000	49,355,148	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、リ्यूとびあが実施する多くの公演やイベントが中止・延期を余儀なくされたことから、芸術文化の鑑賞機会等を確保するため、事業の組み直しを行う。	延期していた公演を実施し、市民から再開を喜ぶ声が寄せられた。	民間による文化芸術活動が停滞するなか、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催し、市民の鑑賞機会の確保に貢献した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策関連事業（主な事業の評価）

担当：⑤こども未来部

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算 (円)	決算額 (円)	事業概要	業界や市民から 寄せられた意見・要望	評価
1	こども家庭課	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	5/1専決	1,087,200,000	960,064,240	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取組の一つとして、児童手当（本則給付）を受給する世帯に対し、子ども1人あたり1万円の臨時特別の給付金（一時金）を支給するもの。	追加給付や再支給はないのかとお問い合わせがあった。	・新型コロナウイルス感染症の影響による子育て世帯への負担等に対する支援を行うことができた。 ・施設入所等児童や配偶者からの暴力を理由に退避されている方についても適切な手続きにより遅延なく支給することができた。
2	こども政策課	放課後児童健全育成事業	5月臨時会	73,500,000	109,912,241	・コロナウイルス感染拡大防止のため、放課後児童クラブの分散運営に必要な臨時職員増員配置に係る経費 ・放課後児童クラブ職員に対し支給する一時金	・感染拡大の収束の目途が立たないため、引き続き児童を分散して運営すべきとの意見があった。 ・一時金の支給に対し、職員やその家族から感謝の言葉があった。	・感染拡大防止のために小学校と連携し、放課後余裕教室等を活用することで児童を分散して運営することができた。 ・コロナ対策による分散運営が長期化したため、当初予算を上回る決算額となった。
3	こども政策課	放課後児童健全育成事業	6月定例会	192,300,000	98,654,415	・緊急事態宣言の延長による小学校臨時休校に伴い、放課後児童クラブを午前中から開所するために必要な経費 ・感染拡大防止のためのマスクや消毒液等購入費 ・利用自粛要請に係る保護者の利用料を返還する経費	衛生用品は手に入りにくいので、市が一括発注して配布してほしいとの意見があった。	臨時休校中、放課後児童クラブを午前中から開所し、児童を受け入れるとともに、各施設で感染拡大防止のための備品を確保することができた。
4	こども政策課	子ども食堂等活動支援事業	6月定例会追加	4,350,000	2,487,785	コロナ禍において、従来の子ども食堂としての活動休止や、活動形態を食堂から弁当配布や食材配布などに変えて活動している団体に対して、活動の再開および継続するための資金として支援する。（一か所上限15万円）	ボランティア不足やコロナ禍でお弁当配布、フードパントリーとなったことで利用者が増加したことによる食材不足、などの意見が多くあった。	・17団体から補助金の申請がありすべてに交付できた。 ・活動休止中の団体には再開に向けた支援に、形態を変えて活動している団体には安定的な運営に対する支援に、それぞれ寄与した。

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
5	こども家庭課	新潟市児童扶養手当受給者への子育て応援金	6月定例会追加	158,960,000	155,590,479	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を1人で担う低所得のひとり親世帯に、特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、こうした世帯の子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を早期に行うため、本市独自の支援として児童扶養手当5月定時支払対象者へ3万円を給付する。	国事業の給付金と比較すると支給対象者が狭く、差が生じてしまったことにより、同じひとり親世帯でも給付金が受けられない方が生じてることについての問い合わせがあった。	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親世帯の子育て負担や収入の減少に対する支援を国事業の給付金に先んじて早期に行うことができた。 当応援金では支援できなかったひとり親世帯を対象として、9月補正において「ひとり親世帯への子育て応援金」を実施した。
6	こども家庭課	妊婦乳幼児健康診査事業	6月定例会追加	9,500,000	4,088,284	新型コロナウイルス感染症の影響により実施を休止した令和2年3月から6月に係る1歳6か月児・3歳児健診を追加で実施し、幼児の健診の機会を確保する。	いつ健診が再開するか、自分の子どもの健診はいつになるか等の問い合わせがあったが、順次個別通知し、実施することを説明して理解を得た。	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染予防対策をとりながら、休止していた分の健診を追加で実施し、幼児の健診の機会を確保することができた。 医師の確保や会場の都合などで、令和2年度中にリカバリーできなかった分の健診を翌年度追加で実施し(4,200,000円繰越)、幼児の健診の機会を確保することができた。
7	こども政策課	乳児院管理運営費	6月定例会追加	10,000,000	8,945,406	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症に伴い、保護者、親族等による養育がむずかしい濃厚接触者となる乳幼児の乳児院での一時保護について、施設内に隔離空間を確保することを目的とした施設改修経費を要求するもの。</p> <p>(2) 市が所管する児童養護施設等へ感染拡大防止を図るために配布する、マスク・消毒液等の購入経費を要求するもの。</p>	衛生用品や検温器は手に入りやすく、一括発注により施設職員の負担なく感染対策をとることができた。	1月中に乳児院への外階段の設置が完了することにより、入所児童と濃厚接触者を隔離することが可能となり、より安心して安全な施設運営が可能となった。

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
8	こども家庭課	低所得者のひとり親世帯への臨時特別給付金	6月定例会追加	605,493,000	414,656,354	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を1人で担う低所得のひとり親世帯に、特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、こうした世帯の子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を早期に支給する。(国10/10)</p> <p><基本給付> ①令和2年6月分の児童扶養手当支給対象の方 ②遺族年金などの公的年金給付により同手当の支給制限を受けている方 ③コロナ禍により直近の収入が同手当の支給対象まで下がった方 → 1世帯5万円及び第2子以降3万円加算 <追加給付> ④: ①②該当者でコロナ禍により直近の収入が大きく減少した方 → さらに1世帯5万円 <基本給付の再支給(12月閣議決定)> ⑤: ①、②、③対象の方 基本給付と同額</p>	ひとり親世帯を対象とした他の支援事業について問い合わせがあった。	ひとり親世帯の子育て負担や収入の減少に対する支援を行うことができた。
9	保育課	保育園における感染症対策	6月定例会追加	183,500,000	164,266,000	<p>児童福祉施設等における新型コロナウイルス感染症対策として備品の購入や、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続実施するために必要な経費を補助する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者からすでに3月末までの納品が間に合わない可能性のある物品があるとの声がある。 ・本市が対象としていない一時預かり事業についても実施の要望があった。 	<p>間接補助とすることで事業者が必要とする感染症対策費に充てることができた。</p>
10	保育課	病児・病後児保育事業	6月定例会追加	22,000,000	22,000,000	<p>病児・病後児保育施設に対し、新型コロナウイルス感染症などの流行に伴う利用控えの影響に左右されず、安定した運営ができるよう支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的な運営を行うための要望書が事業者から提出され、市議会においても事業者支援に係る一般質問が行われたが、いち早く支援を打ち出したことで、事業者や市議会からも評価の声があがった。 ・今後も安定的な運営ができるように委託料の見直しについて、事業者からの声のほか市議会からも一般質問があがった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施により、事業者が体制を維持しながら事業を継続して実施できた。 ・利用者数の減少が運営に影響を与えず、安定した事業継続が行えるよう、令和3年度から基本部分を手厚くした委託料体系に見直した。

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
11	こども家庭課	不安を抱える妊婦への分娩前ウイルス検査事業	8/11専決	80,000,000	2,057,950	新型コロナウイルス感染症の不安を抱える妊婦がかかりつけ産婦人科医院と相談し、本人が希望する場合に分娩前に実施したPCR等のウイルス検査費用を助成する。発熱等症状がある場合や院内感染防止のための検査は対象外。	・検査を実施した方より、検査料金が高額だったので、補助を受けられてありがたいとの声があった。 ・医療機関より、陽性だった場合の対応や、10月以前に実施した検査の取り扱いについて、確認があった。	・妊婦の新型コロナウイルス感染症に対する不安を解消し、安心して出産に臨む手助けが行えた。 ・市内の新型コロナウイルス感染症の流行が比較的落ち着いていたため、不安で検査を申し出る妊婦は少なく、助成実績が伸びなかった。
12	こども政策課	新生児を対象とした臨時給付事業	9月定例会	166,700,000	119,703,128	コロナ禍で妊娠、出産を経て子育てをされている世帯を支援するため、特別定額給付金の基準日（令和2年4月27日）後に生まれたお子さんに、「新潟市・佐渡市共通商品券」3万円を給付するもの。	・10万円ではなく3万円の給付で残念 ・里帰り出産先への郵送はできないか ・4月以降出産予定だが、給付してもらえないか ・転入者も対象にしてほしかった	・様々な不安、不便のなか妊娠、出産を経て子育てを行う世帯の支援につながるとともに、商品券利用による地域経済の活性化に寄与することができた。 ・延べ4,828件（R3年度繰越分含む）の給付を実施した。（R3年度繰越額：28,745千円） ・本事業の新潟市・佐渡市共通商品券の活用により、商品券利用登録を希望する事業者からの問合せもあり、地域経済への支援にも一定程度寄与することができた。
13	こども政策課	こども創造センターにおける感染症対策	9月定例会	2,500,000	3,201,000	コロナ禍においてこども創造センターを安心・安全に運営していくため、①感染拡大防止対策としてAIサーマルカメラを設置し、②空調設備を修繕して、換気による室温の上昇を防ぎ、適切な室温管理を行うもの。	AIサーマルカメラの導入により、利用者の体温計測が簡便になるとともに、館内温度も適切に維持され大変助かった。（施設管理者）	・AIサーマルカメラの導入により、来場者が増えても体温計測が適切かつスムーズに行うことができ、感染予防対策として効果があった。 ・空調設備の修繕により、定期的な換気を行っても館内温度を適正に維持することができ、利用者からの苦情も発生しなかった。
14	こども家庭課	ひとり親家庭生活応援事業	9月定例会	46,200,000	21,002,514	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担うひとり親世帯に大きな困難が生じていることを踏まえ、新潟市内で収穫された新米を現物給付する。	新潟市産米が届いた方から感謝のお手紙等をいただいた。	ひとり親世帯の子育て負担や収入の減少に対する支援を行うことができた。
15	こども家庭課	児童発達支援センター業務管理システム経費	9月定例会	5,500,000	4,527,600	児童発達支援センターに、訪問先で相談記録をつけたりテレワークができる体制を整え、「新しい生活様式」に対応した働き方ができる環境を構築するもの。	現場の職員から、新システム移行に伴い、訪問先等でコロナ感染対策を十分とりながら仕事ができる環境が整ったとの声があった。	システムの導入により、危機事象下における執務環境の確保と、効率的な事業の実施が可能となった。

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
16	こども家庭課	児童扶養手当受給者への子育て応援金	9月定例会	66,008,000	17,205,689	6月議会で補正予算措置を行った「児童扶養手当受給者への子育て応援金(3万円給付)」について、国の給付金(ひとり親世帯臨時特別給付金)と同様、児童扶養手当を受けていないひとり親についても支給することで、より多くのひとり親世帯への支援を行う。	ひとり親世帯を対象とした他の支援事業について問い合わせがあった。	ひとり親世帯の子育て負担や収入の減少に対する支援を行うことができた。
17	保育課	新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮した相談体制強化事業	9月定例会	9,000,000	6,883,211	地域子育て支援拠点事業者が、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮した相談支援体制を強化するためにICT機器導入の環境整備等に係る経費を補助する。	・感染への不安から利用をためらう市民がいる。 ・電話相談より顔を見て安心するという声があがっている。	・対象事業者ニーズ調査を実施、意欲の高い事業者を支援することで、確実に事業が実施できた。 ・ホームページにオンライン相談実施園が分かるようにし、利用促進を図っている。
18	保育課	<東・秋葉区以外>市立保育園登降園記録システム整備事業	9月定例会	22,000,000	16,131,975	市立保育園等に登降園管理のタイムレコーダーを導入することで、保育園等玄関先での保護者の滞留を防止、共用する鉛筆等を介したコロナ感染を防止する。	園児の保護者から記入するペンを共有することへの不安や登園時間が重なるため時間を記入する際に密になることへの不安の声があった。	玄関滞在時間や鉛筆等を共用する機会が減少し、コロナ感染を防止できている。また、登降園時間をデータで把握ができ、データ集計作業の時間短縮が今後期待出来る。
19	こども政策課	放課後児童クラブWi-Fi環境整備事業	12月定例会	87,000,000	41,505,794	新潟市GIGAスクール構想に伴い、市内放課後児童クラブのWi-Fi環境を整備するもの。	現場の職員や運営事業者からは、GIGAスクールの開始に併せ、放課後児童クラブでもタブレット端末を用いた家庭学習等ができるよう環境を整えて欲しいとの声があった。	・放課後児童クラブにおいても、タブレット端末を使用した家庭学習等を行うことができた。 ・学校教室のWi-Fi設置と同時期だったため、人員不足、機械不足により、年度内に設置ができなかったが、教育委員会がタブレット端末を使用した学習を本格化するとしていた令和3年度の夏までに、設置予定の全クラブへの整備が完了した。

No.	担当課	事業名	補正 時期	現計予算 (円)	決算額 (円)	事業概要	業界や市民から 寄せられた意見・要望	評価
20	こども家庭課	ひとり親家庭への臨時特別 給付金	2月定例会	184,000,000	329,889,805	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を1人で担う低所得のひとり親世帯に、特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、こうした世帯の子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を支給したが、依然としてひとり親世帯の状況が苦しいことを踏まえ、「低所得者のひとり親世帯への臨時特別給付金」の基本給付を支給した方に同額を再度支給する。(国10/10)	ひとり親世帯を対象とした他の支援事業について問い合わせがあった。	新型コロナウイルス感染症の影響によるひとり親世帯への子育て負担や収入の減少に対する支援を行うことができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策関連事業（主な事業の評価）

担当：⑥都市政策部

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
1	都市交通政策課	生活交通確保維持・強化事業、空港アクセス改善事業	6月定例会	62,182,000	45,462,083	<p>【生活交通確保維持・強化事業】 地域内交通の確保維持・強化のため、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に伴って生じた運行経費欠損分の補填を行う。</p> <p>【空港アクセス改善事業】 新潟駅南口と新潟空港間における直行リムジンバスの運行について、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少していることから、必要額を県と市で補助する。(県主体事業)</p>	<p>【生活交通確保維持・強化事業】 意見・要望はなし</p> <p>【空港アクセス改善事業】 <県> 緊急事態宣言解除後、航空便数は回復傾向にあるが、リムジンバス利用者数の回復には時間を要する</p>	<p>●生活交通確保維持・強化事業 不採算路線バス、区バス、住民バスの利便性を落とさず、通常の運行便数を確保することができた。</p> <p>●空港アクセス改善事業 補正予算が計上されたことより、空港リムジンバスの継続運行がなされ、航空利用者を確実に輸送することができている。</p>
2	都市交通政策課	バス・タクシー事業者緊急支援事業	6月定例会追加	74,000,000	68,220,000	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による公共交通利用者の減少下において、市内公共交通網の維持に努めたバス事業者やタクシー事業者を支援することで、公共交通の維持を図る。</p>	<p>関連団体からの要望を受け、それに応える形でいち早く支援したことから関連団体から評価の声があった。</p>	<p>経営状況が最も悪化していた時期に迅速に支援を行ったことで、バス・タクシー事業の存続に向けて一定の効果があった。</p>

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算(円)	決算額(円)	事業概要	業界や市民から寄せられた意見・要望	評価
3	都市交通政策課	タクシー事業者デリバリーサービス補助事業	6月定例会追加	27,518,000	1,412,414	<p>タクシー事業者が飲食店などの商品配送を行うことを国が特例的に認めたことを契機に、公共交通を確保維持しつつ、経済を活性化することを目的とし、飲食店のデリバリーサービスを実施しているタクシー事業者に対して補助金を交付するもの国の法改正を契機に、10月1日から補助期間を令和3年3月31日まで延長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー事業者から「ビジネスモデルとしてなり得るか検証するために事業期間の延長が求められた一方、旅客需要が回復傾向にあるため、デリバリーサービスに手が回らなくなってきた」等の意見があった。 ・また、飲食店からは、「本補助事業のおかげで経営危機から脱却に向かっていく」旨の意見があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本補助制度は協会からの要望を受け開始したが、その後、旅客需要が回復傾向に転じたことなどから、当初の想定より補助申請事業者が伸び悩んだ。 ・その要因として、旅客需要と比べ事業採算性が低いことや、食中毒対策など衛生面での対応が難しいこと、さらには本業の旅客事業に影響を与えないため、相応の車両台数を保有していなければならないことなどがあげられる。 ・一方、相応の車両台数を保有している事業者においては、補助制度を活用し、デリバリーサービスがビジネスモデルとなり得るかを検証した結果、本格運用化する事業者も生まれた。
4	都市交通政策課	新バスシステム改善事業	9月定例会追加その2	50,670,000	13,740,520	<p>バス利用者の不安を解消するため、待合環境の密集を緩和し、対策を周知することでバス利用者の増加を図る。また、コロナ禍における公共交通利用についての広報を実施。</p>	<p>「新潟市未来につなげる公共交通サポーター企業制度」を新設し、市内20社以上の企業から登録があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、企業や公共交通利用者に向けた広報を実施するため、HPやサポーター企業制度などを新設。これらの仕組みを活用し、今後も継続的に発信し続けることが重要。 ・メディアシップ1階のMSLink内に、バスの情報案内板を設置したことにより、バス待ち環境の充実につながった。 ・密集緩和を目的とした待合室の新設や上屋の延伸については、R3年度内しゅん工に向け、関係機関と協議中【R3年度繰越36,900千円】
5	都市交通政策課	未来に向けたバス・タクシー利用者支援事業	9月定例会	323,925,000	171,197,045	<p>公共交通の利用促進を通じて、意識の醸成とともに将来の利用者を増やしていくことで、公共交通の確保と維持を図る。学生向けバス利用支援として、市内の中学、高校、大学、専門学生へリ्यूとポイント等3,000円分と引換えることができるチケットを配布。ぶらばすチケットの半額補助を実施。次回乗車時に使用できるタクシーチケットを配布。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生や保護者、学校から学生向けのバス利用支援について「学生の生活が苦しい中、少しでも負担軽減につながる」などの感謝の声があった。 ・タクシー利用者から「コロナ禍のなか、明るい話題が提供された」などの感謝の声があった。 ・バス、タクシー事業者から「利用者支援が事業者の支援にも繋がっている」「新規利用者が増加した」などの報告があった。 	<p>バス、タクシーの利用者へチケットの配布等を実施することで支援を行うことできた。運行事業者への支援にも繋がった。(バス事業者13社、タクシー事業者165社)</p>

No.	担当課	事業名	補正 時期	現計予算 (円)	決算額 (円)	事業概要	業界や市民から 寄せられた意見・要望	評価
6	都市交通政策課	区バス等キャッシュレス決済導入実証実験事業	9月定例会	57,805,000	57,752,964	新型コロナウイルス感染拡大の要因となる接触機会を減らし、感染抑制に向けた衛生環境を構築するとともに、観光施設や商店街などと連携することでコミュニティバスの利用と地域振興を同時に実現させる。		キャッシュレス決済システムの導入による、感染抑制に向けた衛生環境の構築に加え、商店街や観光施設との連携を図ることで、新規バス利用者の獲得が見込まれる。
7	都市交通政策課	県内高速バス運行継続支援事業	2月定例会	15,135,000	7,517,000	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、県内高速バスの利用者は減少し、このままでは路線の減便や廃止が懸念される状況にあります。このため、県と沿線市が共同し、通勤や通学など生活交通として利用されている県内高速バスの運行継続に対して支援を行います。		・県内高速バスの運行継続のための支援を行うことできた。当面の間、減便・廃止をすることなく運行することでバス利用者の利便は確保される。(長岡線、上越線、十日町線、燕・三条線、五泉村松線)

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策関連事業（主な事業の評価）

担当：⑦教育委員会事務局

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算 (円)	決算額 (円)	事業概要	業界や市民から 寄せられた意見・要望	評価
1	学務課	学習用端末整備事業	5月臨時会 12月定例会	151,143,000	131,459,856	学校の臨時休校等の期間中も切れ目ない学習環境を提供するため、児童生徒1人1台端末、教員用端末を整備。		学習用端末(iPad)61,415台及び職員用端末追加1,017台を整備した。
2	学務課 学校支援課 総合教育センター	GIGAスクール構想の加速事業	6月定例会 追加 9月定例会 12月定例会	492,202,000	300,572,931	「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGAスクール構想」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速することで、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境を早急に実現。	インターネット回線増強の早期実現について	ICT技術者等のGIGAスクールサポーターを2校に1人配置し、学校の急速なICT化を進めた。インターネット回線増強については、令和3年度中に検証・整備を行う。
3	学校人事課	スクール・サポート・スタッフの追加配置	6月定例会 追加 9月定例会	144,515,000	124,949,248	学校再開にあたって感染症対策の強化や3密を避ける環境づくり等純増する教職員業務をサポートするためスクール・サポート・スタッフを配置する。		新型コロナウイルス感染症対策の業務をスクール・サポート・スタッフが担うことで、教職員の負担が大きく減少し、放課後や教材研究など、子どもに関わる時間が増えた。

No.	担当課	事業名	補正 時期	現計予算 (円)	決算額 (円)	事業概要	業界や市民から 寄せられた意見・要望	評価
4	学校人事課 学校支援課	加配教員の追加配置 学習指導員の配置等	6月定例会 追加 9月定例会	71,295,000	36,376,908	臨時休校等の影響による少人数学 級編成や教職員の負担軽減のための 加配教員の追加配置や学習指導員の 配置、業務委託など		加配教員の追加配置については、一斉休校の影響による学びの保障のため、授業時数の確保と新しい生活様式の確保に効果があった。 学習指導員の配置については、教員〇日等を計87人配置し、教職員の負担軽減や子どもへのきめ細かな学習支援を行った。
5	学務課 保健給食課 施設課	学校再開に伴う感染症対策・ 学習保障等に係る支援経費	5/1専決 6月定例会 追加 9月定例会	671,000,000	320,826,366	・衛生用品購入 ・スポットクーラー購入 ・特別教室エアコン整備 ・トイレ改修 など	エアコンについては、すべての特別教室に設置の要望あり。	各学校の実状に応じた感染症予防対策を実施できた。 エアコンを整備することにより、夏の暑い時期でも3密を回避しながら授業が行えるスペースを増やすことができた。
6	学務課	就学援助における衛生用品経 費上乘せ	6月定例会 追加	60,000,000	61,725,000	市立学校に通う児童・生徒のうち R2年度就学援助制度の支給認定者 に衛生用品購入相当額5,000円を支 援する事で、就学機会の保障を図 る。	市民団体等からは有効な就学 支援であると評価された。	経済的支援が必要な家庭へ必要な支援ができた。
7	学校支援課	修学旅行の中止または延期に 伴う追加的費用への支援	9月定例会 2月定例会	125,000,000	120,011,147	新型コロナウイルス感染症の影響 により、修学旅行を中止・延期した 場合に生じる費用について、保護者 の経済的な負担軽減を図るため、 「取消料等」や「延期に伴って生じ る追加費用(感染症対策経費、行先 変更等)」に対して支援する。		小学校101校、中学校56校、中等教育学校1校、高等 学校2校へ支援し、保護者の負担軽減に努めた。
8	地域教育推進 課	地域教育コーディネーター用 端末の校務支援システム連携 事業等	6月定例会 追加	7,400,000	7,264,419	地域教育コーディネーター用端末 の教育ネットワーク接続、子どもふ れあいスクール事業消毒用品購入		地域教育コーディネーター用パソコンの教育ネット ワーク接続のための事前作業を行い、R3年4月から システム接続を行う準備ができた。 ふれあいスクール事業の消毒用品を購入・配置する ことで、適正な事業運営を行うことができた。

No.	担当課	事業名	補正 時期	現計予算 (円)	決算額 (円)	事業概要	業界や市民から 寄せられた意見・要望	評価
9	中央図書館	学習支援のための図書購入等 事業	6月定例会 追加	10,000,000	9,999,779	子どもたちが学校で調べ学習等を行う際、密集・密接を避けるために、できるだけ少ない人数で図書が共有できるよう、学校貸出セットの図書を追加購入し、学習を支援する。このほか、団体貸出用図書の拡充及び中央図書館特設コーナー用図書の購入により、テレワークや免疫学関連など「新しい生活様式」の実践や感染予防に役立つ資料の充実を図る。		<ul style="list-style-type: none"> ・図書の追加購入により、コロナ禍における市民のニーズに対応した情報提供ができた。 ・学校貸出セット用図書は、利用開始にあわせてチラシを学校宛てに配布。学校からの要望に応えることができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策関連事業（主な事業の評価）

担当：⑧区役所

No.	担当課	事業名	補正時期	現計予算 (円)	決算額 (円)	事業概要	業界や市民から 寄せられた意見・要望	評価
1	全区	地元飲食店&地域交流応援事業 (2020.12~2021.2) 地域で弁当交流応援事業 (2021.3)	予備費	88,500,000	87,041,779	地域交流の機会が減少している地域コミュニティ協議会や自治会などの地域団体の交流再開と、経営に疲弊している地元飲食店を支援するため、地域団体が活動する際の弁当代等の一部を助成する。 (地域で弁当交流応援事業では、利用対象者に企業を追加)	【登録飲食店】 宴会が開催できる状況でない中、弁当事業での売り上げがありありがたかったとの謝意があった。 【弁当購入者】 値段の高い弁当を半額で食べることができ、地域交流のきっかけにもなったとの意見があった。	地域交流の機会が減少した地域団体等の交流機会を促進するとともに、地域交流を支えてきた地元飲食店を支援することができた。